

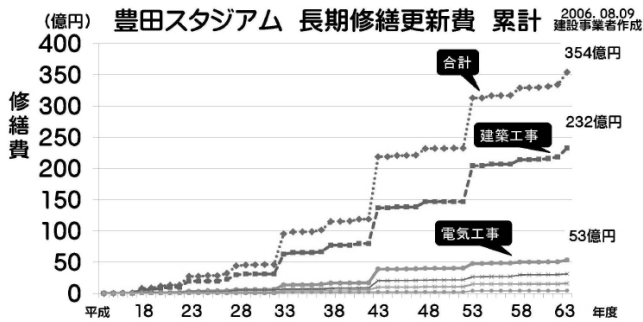
1. 今後の豊田スタジアムは大丈夫か？

(答弁は、倉橋教育行政部長)

テーマ選定理由： 最大4.5万人収容の豊田スタジアムは、市が所有し、(株)豊田スタジアムが管理している。平成25年度は、5月に日本代表戦、7月にグランパス対アーセナルFCとの国際親善試合、9月にサザンオールスターズのライブなど、集客力の大きなイベントが多数、開催された。こうしたイベントを継続していくためには、公共施設として、施設の有効利用とともに維持管理についても、しっかり監視していく必要がある。これら、豊田スタジアムの今後のあるべき姿を考え、質問した。

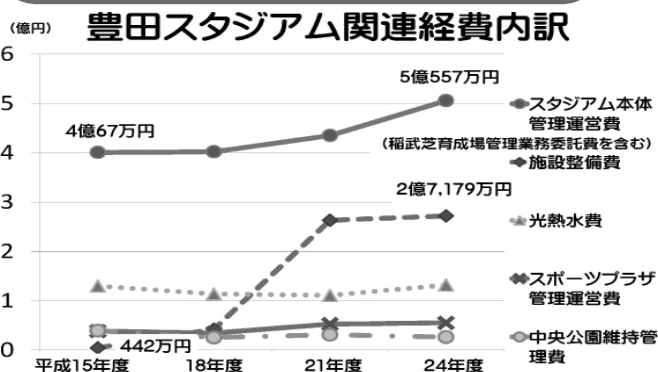


1) 豊田スタジアムの修繕計画は？



豊田スタジアムの将来の修繕について、平成18年に建設業者から、建築後50年間の修繕更新費を見積もった「スタジアム長期修繕更新計画書」が提出された。その50年間の修繕費は約354億円とある。この「計画書」があるのに、本市は24年度、委託費745万円で同じ業者による修繕計画を策定した。その委託した修繕計画で示された修繕費用の総額は、

委託した修繕計画は、26年度から44年度までの19年間の修繕案を策定したもの。その内容は、現段階では、市の正式な修繕計画ではない。必要と思われる修繕費用の金額案が公になると、今後、市が修繕計画を固めていく際の意思決定に影響を及ぼす恐れがあると考え、今回委託した修繕計画に掲載される修繕費用の総額は、現段階では公表できない。



2) 豊田スタジアムの経費はこのままでいいのか？

市から(株)豊田スタジアムに支払っている指定管理料を引き下げる考えは。現在、市からスタジアム関連経費の持ち出し額が9億円を超えているが、その適正金額、スタジアムの有効活用、収支バランスの向上策をどう考えているか。

指定管理料に含む光熱水費は外的要因の影響を大きく受け、削減は容易でないが、人件費の積算方法や再委託費の契約方法の見直しなど、できるだけ経費の抑制、削減に努める。持ち出し額の適正金額は、少ないほど良いと思うが、具体的な考えはない。スタジアムの有効活用の面では、さらに多くの国際試合や大規模イベントの誘致などを通して、本市の情報発信力を強化し、市のイメージアップ、活性化、経済効果などにつなげたい。収支バランスの向上は、(株)豊田スタジアムの利益剰余金の状況なども視野に入れ、今後の経費抑制のあり方を検討したい。

おかた耕一の意見 私自身、サッカーファンであり、グランパスのサポーターでもある。今年はストイコビッチ監督のホーム最終戦を含め、2度スタジアムで観戦した。しかし、議員になる以前から豊田スタジアムの必要性、収益性に疑問を抱き、仲間とともに市民運動にかかわってきた。当時から**維持経費が約5億円必要**との認識はあった。しかし、**修繕費が、300億円以上かかった建設費を超える可能性があること、ピーク時と比べ、年間400億円以上も市税収が減少**したことは予想外だった。公共施設は、ないよりもあった方がいい。小さいよりも大きい方がいいこともある。夢と感動も大事だ。しかし、施設、設備は必ず老朽化し、点検、修繕、更新が必要となる。私たち議員は、今後、公共施設の新設を考えると、**建設費だけでなく、施設が役割を終えるときまでの生涯費用をしっかりと考慮し、次世代の子どもたちに負担を押し付けることのないように責任をもって、判断しなければならない。**

これらの費用は市民が負担することになる。市は、早急に費用明細とともに修繕計画を明らかにすべきだ。

おかだ耕一議員に異議あり！

おかだ耕一議員に対する異論、反論をご紹介します、それに対するご説明をさせていただきます

リゾート安曇野について

豊田市の保養所「リゾート安曇野」



開設23年 利用40万人超

豊田市の保養所「リゾート安曇野」は、開設23年を記念して、10月30日（土）に「リゾート安曇野」の利用率が40万人を超えたことを発表しました。これは、開設以来の最高記録です。また、今年度は、10月30日現在、累計利用人数が40万人を超えました。これは、開設以来の最高記録です。また、今年度は、10月30日現在、累計利用人数が40万人を超えました。これは、開設以来の最高記録です。

安く好評 稼働率70%

リゾート安曇野は、豊田市の保養所として、開設23年を記念して、10月30日（土）に「リゾート安曇野」の利用率が40万人を超えたことを発表しました。これは、開設以来の最高記録です。また、今年度は、10月30日現在、累計利用人数が40万人を超えました。これは、開設以来の最高記録です。

財政面で課題の指摘も

豊田市の保養所「リゾート安曇野」は、開設23年を記念して、10月30日（土）に「リゾート安曇野」の利用率が40万人を超えたことを発表しました。これは、開設以来の最高記録です。また、今年度は、10月30日現在、累計利用人数が40万人を超えました。これは、開設以来の最高記録です。

ご苦労様です。私は市議の先輩にあたるトヨタ学園18期の卒業生です。10月30日中日新聞朝刊の記事「豊田市リゾート安曇野」に関する貴殿の発言、考えに憤りを感じメールしました。貴方は以下の指摘、発言されています。

1) 幅広い市民が利用するという目的を果たしていない。

2) 安曇野の公費負担を減らし、全国に豊田市の保養所を指定して数千円の宿泊代を補助する仕組みを作る。

それを受けてか、市ものづくり産業振興課も「公費負担を下げ、幅広い年代に広くPRしていく」と発言。

貴方も元トヨタ社員ならわかるはず。20代後半くらいから50代前半までは、子供が幼稚園入園や学校入学以降は土・日曜日か夏冬休みくらいしかリゾート安曇野を利用したくても利用できない家庭の事情がある。土・日曜日か夏冬休みに利用したくても競争率が高く、家庭事情からくる希望日には利用できない。子供が親離れするまでは利用したくても利用できないのは個人・家庭の事情を優先しているからだ。よって、若いうちは補助金を支援する側に立つだけだ。

しかし、退職後は平日に十分な時間が作れるため利用させてもらう。私も年1回ほど利用させてもらっているが、退職前は個人事情で5年に1回程度しか利用できなかった。若い時は補助金の支援側だが退職後は補助金の世話になる、社会の相互扶助のサイクルが廻る。時間的、個人的事情の変化で当然の成り行きである。よって、市ものづくり産業振興課がいくら若い世代にPRしても若い世代の利用率はそんなに上昇しない。

そもそも、貴方や市ものづくり産業振興課は若い世代の利用率が何%になれば良しとするのか？その数値を公開されたし。具体的数値も挙げず能書きばかりは役人思考。民間企業で数値目標が無いのは絵空事として誰も相手にせず処理される。「全国に市の指定保養所をつくり利用者に宿泊代を補助する」貴方の発想、思考を疑わざるを得ません。

全国数千万人いる郵貯、かんぽ利用者を対象にした宿泊施設や国民を対象にした休暇村や国民宿舎の利用率、維持費や公費負担状況を理解されているのでしょうか？豊田市が全国に指定保養所を契約してもほとんど利用されません。その理由は、全国にある現在の公的宿泊施設や半公的宿泊施設の実態が物語っている。仮に全国に指定保養所をつくり豊田市民が利用する制度を作るとした場合、貴方は年間何件くらいの利用数を目標にしているのですか？市の目標値、ネライ値は？目標数値を公開してください。



豊田市民山の家・リゾート安曇野

最後に、今後10年間で3億円の修繕費。これは中日新聞記者の記事ですが、10年で3億円という小さな数字を大きく取り上げている。稲武、小原や旭地区を吸収合併させ、元々の豊田市民から毎年多額の振興・支援費等を出している現状から見れば10年で3億円などという金額は小さな金額に過ぎない。これら地区を走らせている巡回バスの費用一つとっても市民1人あたり千数百円を負担している。合併以降、継続している負担で今後も続くが、先述した「相互扶助」の精神で止むを得ないもの。以上、長々と記述しましたが、貴方も市も、まず数値目標を挙げ、そして結果と目標値のギャップを公開する姿勢で対処して頂きたい。

貴方が初めて立候補された時、貴方の頑張る姿に感銘し、多くの同僚や後輩に「岡田という後輩候補者を頼むぞ」と声掛けしていたことが思い出されました。ベテラン市議として市政の流れを鋭く観察し、ご意見番役を期待しています。

今回のご意見に対する回答は、紙面の都合で次号(4月15日発行予定)とさせていただきます

※ご意見を掲載するにあたり、投稿者の許可を得、また、氏名が特定できない程度に加筆していますが、ほぼ原文通りに掲載

ここが聞きたい！ 議員？ 豊田市政？

市民の疑問に**おかだ議員**がお答えします

豊田市議会の議員定数は減らすのですか？

Q：現在、豊田市議会では、次回（平成27年4月）の市議会議員選挙に向けて、議員定数に関する協議をしていると伺います。議員定数は削減されるのですか？

おかだ耕一：地方自治法が改正され、議員定数の上限が撤廃された。そこで、現在、次回の市議選の定数を決めるため、私が所属する議会活性化推進特別委員会で議論を続けている。以下、議員定数についての私見を述べる。

私は、**豊田市議会における定数は46名とすべきと主張する。**

1)合併の経緯、歴史的背景を考慮

次回の改選は、先の平成の大合併（平成17年4月1日）から10年後に行われる。旧町村地区の皆さんからは、地元をよく知っている方を議員として引き続き選出したいという切実な声を聞く。定数を削減することにより、その可能性が低くなることに強い危機感を持っている。

2)行政を適切に監視できる人員の確保

議会、議員しか持ち得ない権限が行政の監視機能であり、議決権である。自治区長、地域会議委員には、この権限はない。したがって定数を削減し、議員の監視の目が少なくなることは、行政に対する監視機能の低下を意味する。



市情報公開条例に基づき開示された資料を提示しながら質問する、おかだ議員

3)議会構成における多様性の確保

市議会は、多種多様な知識、経験、経歴を持つ議員が、様々な角度から意見、提言、質問を投げかけ、行政に対し、客観性を高めることが求められている。したがって、議会の構成は、多様性を保つことが必要不可欠である。

現状の**豊田市では、大きな地域、組織、政党の支援を得ずして無所属で議員に当選するのは非常に困難**である。この現状が、新たな立候補の意志を摘む要因となっている。定数46名からの削減は、これに拍車をかけ、大きな支援組織を持たない候補者の立候補、当選を排除し、偏った議会構成となる恐れがある。議員の数を減らせば、優秀な人材ばかりになるという**少数精鋭論は本市には当てはまらないと思う。**

4)有識者ヒアリング・市民の声の反映と尊重

3名の学識経験者ヒアリングでは、定数46名から削減すべきという方は1名もいなかった。また、市民アンケートでは、「増員すべき」が1.9%、「46名は妥当」が41.3%、「削減すべき」は28.3%。さらに各種団体との意見交換会や地域市議会報告会でいただいたご意見でも「議員定数を削減すべき」は少数であった。

一方で、**市議会としての行財政改革への取り組みは必要**である。特に議会関係予算については、議員報酬、政務活動費を含め、あらゆるものを精査し、削減努力をすべきである。例えば、議長公用車の車格や出張時のグリーン車使用、宿泊費の概算払いなど、**他に見直すべき点は、多数ある。**

以上の点を踏まえ、私は、**現在の議員定数46名は妥当である**と考える。

おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店 (普通) 1113815 おかだ耕一後援会
郵便振替 00820-9-205061 おかだ耕一後援会
《他行からの振込口座 9900 089(当座) 0205061 オカダコウイチコウエンカイ》

カンパ頂いた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申し上げたいため、ご一報下さるようお願いいたします。政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、**外国籍の方や企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。**

TEL/090-1752-7529

FAX/88-9194

<http://www.ko1.org/>

《連絡先》

HP

E-mail:okada@ko1.org

<https://twitter.com/ko1org>

<http://www.facebook.com/#!/koichi.okada.5>

市政に関するさまざまな
疑問、質問、要望、情報等
お気軽にお寄せください。